



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

看護師募集案内

ピタっここ!

—はたらくをずっと、いっしょに—

タコがピタっ!とくっつくように
あなたにピタっ!な看護師ライフを
ご紹介します!

メンダコ



沼津市立病院憲章 基本理念

「市民のために 共に歩む病院」

【基本方針】

沼津市立病院は、

1. 専門医療を提供するとともに、救急医療・小児医療・産科医療などに積極的に取り組みます。
2. 医療を受ける人々の立場に立ち、患者中心の医療を行います。
3. 県東部の基幹病院として地域医療を支えます。
4. 将来の医療を担う質の高い人材を育成します。
5. 市立病院として効率的で健全な病院経営に努めます。



医療機関と消防機関が連携して行う「救命救急教育」の拠点施設になっています

救命救急センター

急性期医療

災害拠点病院

災害派遣医療チーム「DMAT」保有
災害支援ナース登録者 10 名
東日本大震災では、
看護師が派遣されました

24時間体制で母体搬送を含め妊産婦の救急に対し、医師や看護師が赤ちゃんの治療やケアを行っています

周産期センター

地域医療支援病院

地域の「かかりつけ医」と連携を密にして必要に応じて専門医療、救急医療を提供しています

看護部理念

患者さんの意思を尊重し専門性を発揮した温かな看護を実践します



【基本方針】

1. 患者さんに寄り添い、満足していただける看護を提供します。
2. 安全・安心な看護を提供します。
3. 多職種と連携しチーム医療を推進します。
4. 専門職として自己研鑽します。
5. 地域と連携した看護を推進します。

看護部長 渡邊 淳子

看護部は静岡県東部の中核病院として、地域の皆様が安心して暮らし続けられるよう院内外と連携・協働し、質の高い看護サービスの提供ができるよう努力しています。そして、患者さんやご家族の思いに寄り添うことを原点に、看護部の理念である温かな看護を目指しています。個々の看護職員が専門職として成長できるよう教育体制を整え、いきいきと働けるように、職場環境の改善を進めています。

私たちは自ら学び、成長を目指せる人材との出会いを楽しみにしています。

看護部の紹介

看護部の組織

看護部長のもとに、副看護部長、病棟・外来部門に師長、主任を配置しています。チーム医療を実践するために、各自の役割を明確にし、力を発揮しています。

看護体制

8病棟（NICUを含む）、ICU、手術室、救命救急センター・放射線科・内視鏡室、人工透析室、外来化学療法・点滴室、各科外来、入退院支援センターに看護職員を配置しています。看護職員配置は7対1、夜勤は3交代と変則2交代で、一部夜勤専従を取り入れています。

勤務時間

1日の勤務時間：7時間45分（休憩時間除く）

変則2交代勤務 日勤 8:30～17:15
夜勤 16:15～9:00

3交代勤務 日勤 8:30～17:15
準夜 16:15～1:00
深夜 0:15～9:00

● 早出・遅出あり（部署により時間が違う）

休暇

有給休暇：年間20日（最高40日）

4月採用者は15日間

リフレッシュ休暇：4日間（年間）

夏期休暇：3日間（7月～9月）

働き方改革を推進しており、年間5日以上の有給休暇が取得できています。

その他、さまざまな特別休暇があり、働き続けられる環境を整えています。

看護部データ

平均年齢 **37.9**歳 平均勤続年数 **12**年

年齢は21歳から35歳、勤続年数が10年目までが半数を占めています。男性の師長・主任看護師もおり、全体に占める男性看護師の割合は約1割です。

看護提供方式

「継続受け持ち方式」です。

当院の継続受け持ち方式とは、患者に満足度・質の高い看護が提供できることを目的に入院から退院まで継続して受け持ち、責任を持ってケアする方式です。

チーム医療

感染制御チーム、褥瘡対策チーム、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、認知症ケアチームなど多職種でのチーム医療を推進しています。

院内保育園

院内保育園『きらら』では、0歳～2歳児を日曜日（年末年始は除く）以外の6時から19時まで預かります。また、週2回夜間保育ができます。

育児短時間勤務やライフスタイルにあわせ、3交代・変則2交代の勤務が可能です。院内にあることで、働きながらも子供の様子がわかり、安心して預けられます。毎月行事があり、ハロウィンでは、仮装し院内を回り、クリスマス会では、歌や踊りを見せてくれています。



働くパパママに
ピタっこ!



部署紹介

3階西 病棟

外科、泌尿器科、整形外科の混合病棟で、手術や抗がん剤治療を行っています。入退院の多い病棟ですが、親切・丁寧・明るさをモットーに、入院時より患者さんやご家族と寄り添い、療養上の不安の軽減に努めています。早期回復を目指し安心して退院していただけるよう、多職種との連携を活かし、継続した看護の提供を目指し取り組んでいます。



4階西 病棟

整形外科、形成外科の病棟です。股・膝の人工関節手術、脊椎手術、スポーツ外傷など手術目的で入院される方が多くいます。手術後は安全な離床、機能回復を目的にリハビリ専門スタッフと協力し看護にあたっています。大腿骨近位部骨折患者には地域連携パスを活用しています。入退院の多い病棟ですが明るいスタッフが多く、声をかけあいながら看護を提供しています。

5階西 病棟

主に眼科・耳鼻いんこう科・歯科口腔外科の成人の患者さんと、小児の患者さんの混合病棟です。小児は、小児科・小児外科・形成外科・耳鼻いんこう科・整形外科などあらゆる科の子供たちが入院してきます。子育て中のパパ・ママスタッフも多数活躍している病棟です。

6階西 病棟

循環器・呼吸器内科の病棟です。循環器内科では心臓カテーテルや心不全の患者さんが多く、心電図モニターは欠かせません。心電図の基本的な知識が身につきます。呼吸器内科は、呼吸不全の患者さんが多く補助呼吸が必要な患者さんと関わります。誤嚥予防の食事介助等日常生活援助があります。いずれも生命の危機に直結する分野ですので、緊張感をもちながらも、チームワーク良くお互い助け合いながら看護に取り組んでいます。

3階東 病棟

主に、脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・脳神経内科の4科混合病棟です。手術・リハビリ・点滴治療など、多様な治療スタイルに応じた看護を提供し、患者さんに安全な入院生活を送っていただいています。働きやすい環境作りを目指し、スタッフが主体となりグループ活動をおこなっています。勉強会なども定期的に開催して知識の向上に役立てています。

集中 治療室

呼吸・循環・代謝、その他の重篤な急性機能不全の患者さんへ高度急性期の医療(看護)を提供しています。中央モニターで呼吸・循環状態を24時間モニタリングできる環境です。医師だけでなく理学療法士・薬剤師・栄養士など多職種で連携し看護へ繋げています。

5階東 病棟 (地域包括 ケア病棟)

地域包括ケア病棟であり、一般病棟から病状の安定した皮膚科、糖尿病内分泌内科、リハビリ期にある整形外科患者さん等を受け入れています。認知症ケアにも丁寧に取り組んでおり、ソーシャルワーカーや理学療法士などと協働しながら、患者さんやご家族の意向に寄り添った退院支援を行い外来や地域へ繋げています。スタッフは協力し合い、笑顔の絶えない職場です。

6階東 病棟

消化器内科・リウマチ膠原病科の病棟です。がん患者さんや高齢の患者さんが多いため、入院から退院後までのプロセスを時間軸で捉え、退院後も新たな療養の場で自分らしい生活を送ることができるよう、多職種で協働し支援しています。スタッフは明るく元気で、患者さんにも優しく接しています。

7階

(周産期センター・NICU)

陣痛室から分娩室・新生児室・NICUと繋がった間取りとなっています。産婦人科病棟32床とNICU15床が統合した病棟です。産婦人科病棟では、助産師外来にて妊娠初期より出産後2週間健診、1ヵ月健診で保健指導として関わっています。NICU児は妊娠30週以上、体重1,200g以上の児のケアを行い、特にお母さんへの育児指導に力を入れています。婦人科では緊急手術を含めた対応を24時間実施しています。



救命救急センター



三次救急医療機関として敷地内にヘリポートを備えており、緊急度・重症度の高い患者さんを受け入れています。放射線・内視鏡室では、放射線検査や心臓カテーテル、内視鏡治療の介助を行っています。各科医師・放射線技師・臨床工学技士など多職種と連携・協働し、質の高い医療の提供を目指しています。救急看護、専門治療や検査における看護と幅広い役割があるため緊張感はありますが、互いを高め合う活気ある職場です。

患者さんやご家族の不安や緊張を少しでも軽減し、安心・安全な手術を受けて頂けるよう手術担当医師・麻酔科医師・看護師・臨床工学技士・薬剤師などと協働しています。専門性の高い知識や技術を学ぶことができます。明るく、和気あいあいとした職場で一緒に働きましょう。

手術室



外来部門

外来は、24診療科、1日700人弱の患者さんが受診しています。多職種や地域と連携をとり、在宅療養指導などの生活支援や意思決定支援など、地域で安心してその人らしく暮らし続けられるためのサポートをしています。

また、「病院の顔」として気持ちのよい対応にも心がけ、限られた時間でも安心して受診できる外来を目指しています。

専従

教育専従室、医療安全管理室、感染防止対策室、褥瘡対策室に看護師を配置しています。

入退院支援センター

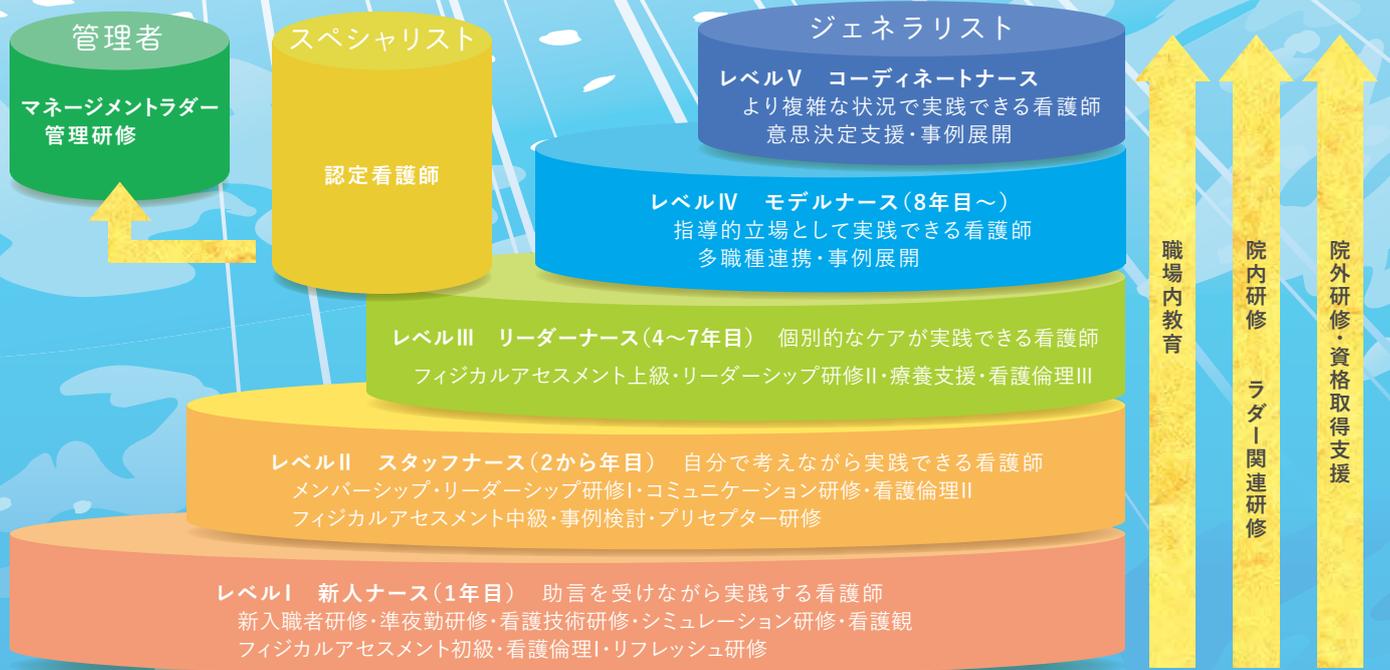
入院される患者さんが、入院前から退院まで安心して入院生活を送れるように、入院センター看護師、総合相談看護師、薬剤師、事務員等と協力し、患者さんやご家族の方に各種書類の手続きや持参薬の確認、入院に関する説明を行っています。また、入院時から退院後の生活を見据えて在宅療養支援看護師、看護外来看護師や多職種と連携しながら、療養環境の調整をして、患者さんやご家族の支援を行っています。

教育プログラム

クリニカルラダーにそった教育を行い、各自が目標を持って自己研鑽に励んでいます。

当院のラダーは、日本看護協会のラダーをもとに組織的役割遂行能力、自己教育、研究能力を加えたキャリアラダーで、レベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴの5段階となっています。

院内研修では、クリニカルラダーレベル取得のための必須研修のほか、認定看護師などが講師となっているトピックス研修を計画しています。また、ナーシングスキル（看護教育のオンライン教育ツール）の利用や院外研修参加により自己研鑽ができる環境も整えられています。教育専従室を設置し、看護職員の教育・キャリア支援などを行っています。



トピックス研修：胸腔ドレーンの管理、人工呼吸器に触ってみよう、緩和ケア、認知症の基礎、褥瘡対策、脳卒中看護、プレゼンテーションの基礎、嘔吐物の処理方法等があります。

新人看護師教育の特徴

同期の絆で育つ

4月の入職者研修で同期の絆を深め、部署配属後は、ほぼ毎月集合研修を行い、同期が集まって日々をふり返り、リフレッシュできるように心がけています。ポートフォリオや看護臨床実践能力到達チェックリストを活用して、3年間を目安に自立した看護師を目指していきます。

チーム全体で育てる

各部署ではプリセプターシップ制を取り、プリセプターを中心に職員全体で支援を行っています。また、プリセプターとの情報共有の場を1年間に4回設け、よりよい指導ができるように工夫しています。

職種の垣根を越えて育てる

教育研修では、多職種の方々の講義もあり、より専門的な知識・技術が学べます。

ポートフォリオ

1年間の目標や目指す看護師像、研修での学びやふり返りなどの記録をファイルしたものです。自分の学習履歴になります。ファイルしたものを指導者とも共有でき、部署での指導に役立てています。



チェックリスト

日本看護協会の新人看護師研修における到達目標に準じたチェックリストです。看護職員としての必要な基本的姿勢、看護実践における管理的側面・技術的側面について、段階的に評価します。習得したことを確認し、フィードバックを受けることで、自信を持って看護実践ができるようになることを目的としています。



1年間の足跡



辞令交付

1年をふり返り、2年目に向けて決意を新たにします

リフレッシュ研修
(1年間のふり返り)

3

2

1

看護倫理I

心に残った看護場面を共有し、看護観を育てていきます

看護観を育てよう

12

11

エンゼルケア研修

フィジカル
アセスメント
初級

10

9

シミュレーション研修

実際の看護場面を体験し、
ふり返ることで看護実践につなげていきます

8

グループワーク
(ふり返り)

夜勤のメンバーとなる時期です。
入職後の3ヶ月をふり返り、同期と共有しステップアップを図ります

7

・点滴静脈内注射
・輸液ポンプ・
シリンジポンプの
取り扱い

6

5

注射演習
(インスリン・
SMBG)

基本的な看護技術や
知識を学びます

4

・新入職者研修
・BLS研修
・看護技術演習
・準夜勤研修

同期の絆を深めながら、社会人としての第一歩を支援します



採血



電子カルテ研修



BLS研修

定期的な集合研修が
充実しているなあ！



新人ナース(経験年数1年)



私は新人サポートが徹底している病院に就職したいと考え沼津市立病院へ入職しました。当院は卒後教育が充実しており、院内研修が豊富です。また病棟勉強会もあるため病棟特有の疾患を学ぶことができます。

普段からチーム内で声を掛け合い、協力して業務を行っています。先輩方は優しく面倒見が良い方ばかりなので相談しやすいです。わからないことや困ったことがある時は相談するようにしています。休みも取りやすく、休日はドライブしたり、友人とショッピングしたりとプライベートも充実しています。

患者さんやご家族の思いに寄り添い、心優しい看護師を目指し頑張っています。幅広い年代のスタッフが活躍する職場です。辛い時もありますが、楽しくやりがいのある仕事だと思います。是非頑張ってください。



STAFF

スタッフインタビュー



男性ナース(経験年数3年)



私が沼津市立病院へ入職したきっかけは実習で市立病院へ学んでいる時に先輩看護師と一緒に働かないか誘われた事です。私の働いている部署では男性看護師は自分一人だけですが、周りのスタッフとは仕事の事以外でも話しが盛り上がる事も多く、コミュニケーションが活発な働きやすい環境です。これからは看護師としてさらに経験を積み、患者家族のそれぞれのニーズに合わせた看護を提供できるようになりたいと思います。男性看護師は看護師全体として見れば数少ない存在だと思いますが、沼津市立病院では男女関係無く自分の行いたい看護を学べる場所です。一緒に働ける事を楽しみにしています。

私は、新卒から沼津市立病院で働いています。入職して数年後結婚、出産をし、今では2人の子供の母でもあります。

2人目の子供の育児休暇後は、育児部分休業制度を利用して働かせてもらっています。育児部分休業というのは、簡単に言うと時短勤務のことで、子供が小学生に入学する前まで利用できる制度です。常勤の職員として働きながら他のスタッフよりも少しだけ早く勤務時間を終え子供との時間を過ごしています。日勤だけでなく夜勤も行っています。家族の協力があることはもちろんですが、一緒に働いている病棟のスタッフの理解と協力があって働き続けることができていると思っています。このように沼津市立病院は、子育てしながらも働き続けることができる制度のある病院です。

子育て中ナース(免許取得2008年 経験年数11年)



INTERVIEW



学生指導者（経験年数11年）



当院に就職し11年目となりました。職場の先輩たちに支えられ、ここまで続けることができています。入社から4年後には新卒で入社してきた新人さんの指導も経験しましたが、委員会からのサポートや、職場全体で教育をしていこうという気風もあったので、安心して指導ができました。現在、臨床指導者委員として看護学生さんと関わり、学生さん達の持つ色々な考え方などに触れ、自分自身の成長にもつながっていると感じています。当院は診療科も多く、急性期から慢性期まで、たくさんのことを学びながら仕事をしています。先輩にいろいろなことを相談したり、後輩にアドバイスをしたりと、スタッフ同士の会話も多く、看護師としてのスキルアップもでき、多くの経験を積むことができる病院だと思います。

トレーナー（経験年数19年）



私は入社し20年目になりますが、入社前「教育体制がしっかりしている、この病院で働きたい」と胸が熱くなったことを今でも覚えています。

新人の時は、勉強や業務、課題をこなすことで日々必死でしたが、その大変な日々を一つ一つクリアしてきた事は、今の私にとって自信へと繋がり人としての糧となっています。私は今までこの病院を辞めたいと思ったことはありません。それは、一緒に働いてきた方々の支えがあり、仕事と子育てを両立し、大変ながらも笑いある充実した日々を送れているからだと思います。当院は経済的安定と充実した福利厚生があります。休日は自分時間を大切にし、リフレッシュできています。

看護職はとても魅力があり、誇れる仕事だと思います。患者さんや家族一人一人の意思を尊重し日々看護に取り組んでいます。

認定看護師（認定看護師歴10年、看護師長歴4年）



当初は認定看護師としての活動に専念したい気持ちが強く、師長としての役割を肯定的に捉える事が出来ませんでした。しかし両立していくことで、自身の強みが発見でき、現在ではスタッフ指導や看護教育に活かすことが出来ています。当院では、月1回の認定活動日が与えられ、通常業務から離れた活動時間を確保できる環境があります。また認定委員会を通じ各分野の認定看護師が顔を合わせ、それぞれの活動状況や悩みを共有しモチベーションを高める場にもなっています。



認定看護師の活躍

当院では、8分野 12名の認定看護師が活躍しています。

| | | | |
|----------|-------------|-----------|-----------|
| 感染管理……2名 | 脳卒中リハビリ……2名 | 救急看護……2名 | 緩和ケア……1名 |
| 集中ケア……2名 | 皮膚排泄ケア……1名 | がん性疼痛……1名 | 認知症看護……1名 |

全国学会や地方会等に参加し、日々研鑽を重ねて、より質の高い看護を提供するモデルとして活動しています。

医療職に対する研修会、市民公開講座をはじめとした研修会の開催、院内における多種職チームの要としての活動など、チーム医療を牽引する役割も果たしています。

また、在宅医療に関わる訪問看護師との連携、同行訪問など、地域に向けた活動にも協力しています。看護師として5年以上の経験を持ち、認定看護師の資格を希望する方には、病院から助成金等の援助があり、恵まれた環境で資格取得を目指すことができます。

将来のキャリア形成に
ピタッこ!



認定看護師以外にもいろいろなところで活躍しています

- 看護学校実習受け入れ 看護学校講師
- アスルクラロサッカー試合、トライアスロン、沼津夏まつり花火大会等の救護派遣 などなど、地域のイベントをサポートしています。



沼津の魅力



大瀬崎は、ダイビングが有名です。



富士を眺めてハイキング・ウォーキングもおすすめです。



360度の大パノラマ!沼津港のランドマーク。近くの食事施設で海鮮料理が楽しめます。



沼津御用邸記念公園

足を伸ばせば、箱根・伊豆・山梨も近いです。



「沼津ひもの」は、ブランドとして認められています。アジのフライもおいしいです。

NUMAZU

福利厚生 互助会制度

充実した福利厚生で
ピタっこ!



互助会制度には、給付事業・助成事業・レクリエーション事業があります。

給付事業には、結婚祝金 60,000 円、出産祝金 30,000 円の給付が、助成事業には、カフェテリアプラン 10,000 円、宿泊施設利用助成 8,000 円(共に年 1 回)の助成があります。

カフェテリアプランとは、様々なメニューの中から自分に合った福利厚生活動に対して助成されるもので、ジムの受講、研修、ライブチケットや DVD 購入などに支給されます。

レクリエーション事業には、バーベキュー大会・バス旅行、クラブ活動では、ダイビング・ゴルフ・テニスなどがあります。年末には、組合で寄せ植え教室なども行われています。



2019年度の様子



家族と一緒に
バーベキュー

クラブ活動にダイビングがあります。資格を取ることもできます。

スイカ割り・ビンゴ
大会もあります



自己負担が少なく、バス旅行ができます。
こんなところへ行ってきました。

- 工場夜景クルーズと自然体感ミュージアム「Orbi横浜」
- 信玄餅詰め放題と人気のシャインマスカット狩り
- 劇団四季鑑賞・大相撲観戦
- 東京ディズニーリゾート

子供から大人まで家族とバス旅行ができます。



12月には、寄せ植え教室(正月飾り)、クリスマスリース作り、ハーバリウムを作りました。



沼津市職員互助会ではいろいろなお店のチケットを用意しています。温泉やショッピングでリフレッシュできます。





沼津市立病院ロゴマーク

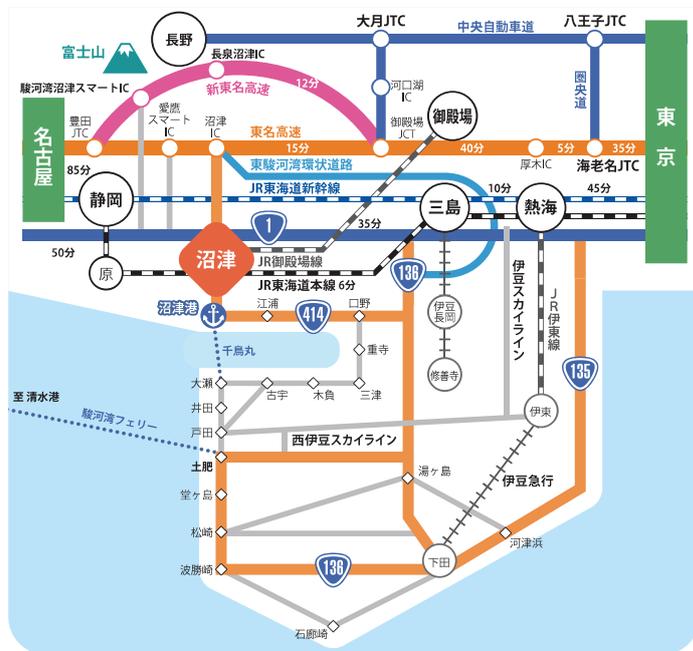
- 自然と人と病院が調和の取れた関係
- カラーは、富士山を背景とした空、日本一の深さを誇る深海の駿河湾、それに挟まれる様に位置する自然豊かな県東部地区の大地を表しています。



病院へのアクセス

出身校一覧

- 県内**
- 沼津市立看護専門学校
 - 静岡県立看護専門学校
 - 御殿場看護学校
 - 静岡医療センター附属静岡看護学校
 - 静岡県立大学(静岡県立短期大学)
 - 国際医療福祉大学
 - 順天堂大学(系列)
 - 常葉大学
 - 湘南平塚看護専門学校
 - 聖隷クリストファー大学
 - 静岡県医師会高等看護学院
 - 静岡済生会看護専門学校
 - 駿河看護専門学校 (現)JA静岡厚生連するが看護専門学校
- 県外**
- 鳥取県立鳥取看護専門学校・鳥取県立倉吉総合専門学校
 - 日本赤十字看護大学
 - 人間総合科学大学
 - 聖母大学
 - 積善会看護専門学校
 - 茅ヶ崎看護専門学校
 - 帝京平成大学
 - 東京有明医療大学
 - 東京医療保健大学
 - 東京都立板橋看護専門学校
 - 学校法人了徳寺大学健康科学部看護学科
 - 神奈川県立保健大学
 - 神奈川工科大学
 - 杏林大学
 - 国際メディカル専門学校
 - 国立名古屋病院附属看護学校



沼津市立病院

NUMAZU CITY HOSPITAL

〒410-0302 静岡県沼津市東椎路字春ノ木550番地
TEL : 055-924-5100(代) FAX : 055-924-5133
HP : <https://www.numazu-hospital.shizuoka.jp/>

